

## 多くの若者、市民、社会人が結集 「戦争法案絶対反対！」の声を上げる

9月13日、戦争法案に反対する関西大行動がうつぼ公園（大阪市西区）で開催されました。集会は、若者を中心に25,000人が集まり、地本からも組合員、家族、OBで参加してきました。集会では「戦争法案に反対します」「多くの反対の声を無視する国会議員は許せない」「廃案にするため声を上げよう」など決意表明（今風ではスピーチ）が行われました。

また集会後は、それぞれが準備したプラカードなどを掲げながら、いろいろと趣向を凝らしたやり方で「戦争法案、絶対反対」「憲法を守れ」「民主主義を守れ」とシュプレヒコール（今風ではコール）を行いながら御堂筋をデモ行進（今風では、パレード）しました。

今回の集会・デモは、SEALDs KANSAI（シールズ関西）の呼び掛けで開催され、いつもの労働組合の集会・デモとは違い、恋人同士や家族連れでの参加者ばかりでした。それは、SEALDs KANSAI（シールズ関西）という学生による、自由で民主的な日本を守るための緊急集会だったからだと思います。担い手は10代から20代前半の若い世代だそうです。若者たちが「私たち一人ひとりの行動こそが、日本の自由と民主主義を守る盾となるはずです。」と訴えています。私たちも戦争反対の声を広げていきましょう。

